

# 大雪に対する農作物の技術対策について

令和4年2月8日  
農業技術課

2月8日11時30分、甲府地方気象台発表の「大雪に関する山梨県気象情報(第1号)」によると、10日(木)は雪が降り、大雪となるところがある見込みです。東海道沖で発生し東進する低気圧や、上空の寒気の影響により、山梨県では広い範囲で雪が降るでしょう。予想より気温が低くなった場合には、警報級の大雪となるおそれがあります。

このため、農作物および農業用施設の被害防止に向けた管理に万全を期してください。

次の「大雪に関する山梨県気象情報」は8日18時頃、甲府地方気象台より発表される予定です。

対策にあたっては、平成26年9月発表の「農業用ハウスと果樹棚の雪害防止対策指針」のほか、以下の技術対策資料を参考にしてください

※農業用ハウスと果樹棚の雪害防止対策指針(大雪に対する技術対策資料)

[http://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/documents/02\\_setsugaitaisaku\\_manual.pdf](http://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/documents/02_setsugaitaisaku_manual.pdf)

**大雪対策は、降雪・積雪前から実施することが重要！**

なお、降雪時、積雪時の作業は危険を伴うため、ヘルメット等の保護帽を着用するとともに、滑りにくい履き物や手袋での作業を行う。万が一の事を考慮して、作業は複数人で行う。

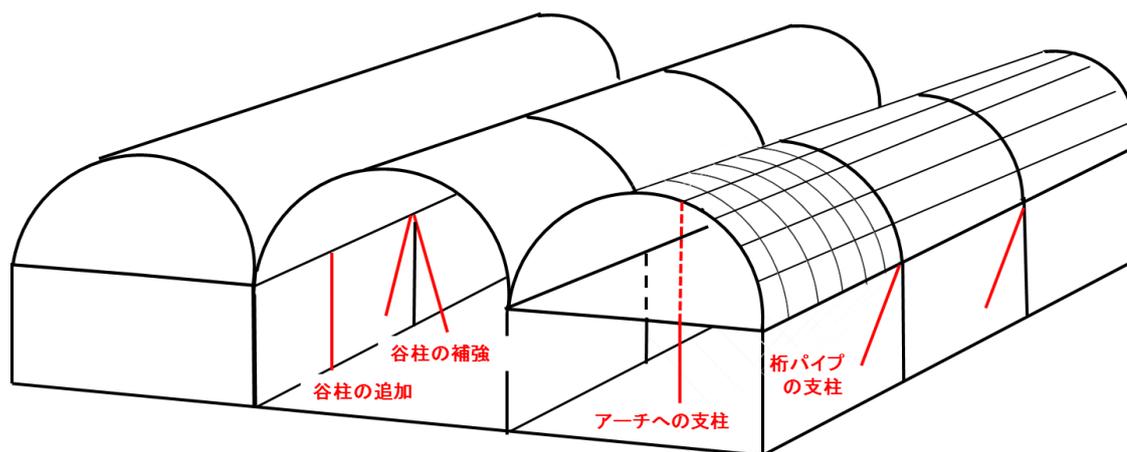
また、危険を感じたら、直ちに作業を中止することも必要である。自らの身を守りつつ、十分に安全に配慮して作業を行う。

## 1 ハウスの補強

- ①ビニールがたわんでいたり、マイカ線等がねじれていたりすると着雪、積雪しやすいので、点検・補修を行い、着雪を防止する。また、妻面付近にネット等を展帳していると着雪の原因となるので、あらかじめ除去しておく。

- ②作業の都合などで、補強資材を撤去している場合は、速やかに復旧する。
- ③構造上、積雪に対する補強が十分でないハウスでは、応急措置としてアーチ部の支柱による補強、連棟ハウスでは谷部分を中心に支柱などによる補強を実施する。
- ④ハウスの周囲の除雪のため、障害となる資材などは、あらかじめ片付けておく。
- ⑤雨よけハウスのビニール、防鳥網は必ず撤去または巻き上げ、積雪によって開かないようにしっかりと結束（固定）しておく。

### <大雪予想時の緊急的な補強例>



## 2 降雪時の技術対策

### 加温ハウス

#### <融雪>

- ・加温による融雪効果は、着雪してからでは効果が劣るので、降雪直後から加温する。カーテンがある場合は、開放して屋根の融雪を促す。ダクトをカーテンの上に配置して屋根の融雪を促す。
- ・融雪のための暖房に備えて燃料を補充しておく。また、大雪になると補給用のローリーの配送が遅延する場合があるので、燃料は事前に満タンにしておく。
- ・散水による融雪も有効であるが、積雪してからの散水は、雪が吸水して積雪荷重が大きくなるので、着雪前から融雪するとともに、谷樋などの排水に雪がつかまらないように注意する。なお、水路などの水は水温が低く、融雪効果が小さいため、地下水など水温の高い水を使用する。

#### <除雪>

- ・除雪作業は、危険を伴うのでハウスからの滑落や落雪に十分に注意する。
- ・降雪量が多いと、加温による融雪が間に合わない場合が想定されるので、早めに除雪作業を行う。

- ・連棟の場合、積雪荷重が偏らないよう中央部から除雪を行う
- ・狭い間隔で隣接するハウスでは、ハウスの間に落雪、積雪した雪が横方向の圧力となってハウスを倒壊させる恐れがあるので、ハウスの周囲も除雪を行う。

#### <緊急対策>

- ・大量の積雪で融雪・除雪が間に合わず、倒壊の恐れがある場合は、谷換気部分の開放やビニールの切断によってハウス内に雪を落とす。大量の雪が堆積している場合、雪を落としたことで積雪荷重が偏って倒壊する危険性もあるので、雪を落とす際はバランスに注意する。

### 無加温ハウス

#### <融雪>

- ・ストーブなどで加温し融雪を促す。ただし、狭いハウスでは一酸化炭素中毒や火災に十分注意する。

#### <除雪、緊急対策>

- ・加温ハウスと同様に対応する。

### 育苗ハウス・トンネル

#### ○小型パイプハウス

- ・ビニールにたわみがあったり、押さえのマイカー線がねじれていたりすると着雪、積雪しやすいので、点検、補修を行う。
- ・棟パイプを中心に支柱により補強する。とくにアーチの傾斜が小さい場合は、支柱の数を多めにしておいて対応する。

#### ○トンネル

- ・野菜のトンネルでは、天頂部をビニール紐などで連結して固定する。
- ・積雪量が多いと予想される場合は、支柱を追加して強度を高める。
- ・面積が広い場合には、早めに除雪を開始する。

### 露地栽培果樹

- ・立木類では、積雪による枝折れを防ぐため支柱などで補強を行う。
- ・ブドウ、スモモ、雨よけハウス等で、防鳥網を広げてある園では、防鳥網を除去する。
- ・棚栽培の作目では、支柱などで補強するとともに、粗切り剪定を行い棚への着雪を少なくする。
- ・果樹棚や枝の雪を速やかに除去して、着雪による荷重を軽減する。棚では荷重バランスが崩れないよう中央部から放射状に除雪する。